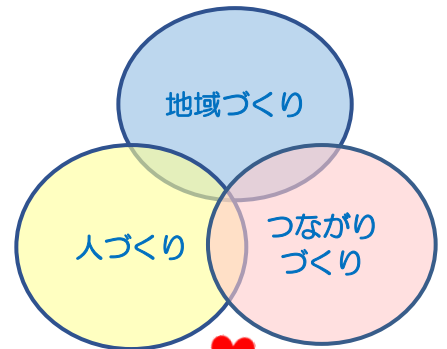


We Love ごじょう

～みんなで取り組む“支えあい”のあるまちづくりを目指して～

生活支援体制整備事業ってなあに？

少子高齢化が進み、支援を必要とする高齢者の増加や支え手が減少する中で、医療や介護の専門職によるサービスだけではなく、住民同士のつながりや助けあいを通じた地域福祉への期待が高まっています。このような背景のもと、生活支援体制整備事業とは、住民同士の助けあい・支えあい活動を推進することで、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを進めるものです。



地域の支え合い活動を生活支援コーディネーターがお手伝いします！



地域や町内で行っている活動はありませんか？

例)「近所の人と集まっていつもお茶会しているよ」

地域でやりたいこと、参加したい活動はありませんか？

例)「仕事を退職したので、これからは地域のために貢献したいなあ。」

皆さんの声や地域の活動を教えてください！



生活支援
コーディネーター

あったらいいな！を一緒に作りましょう！

地域の便利なサービスを知りませんか？

例)「あそこの商店は、買い物したものを家まで運んでくれるサービスをしているよ」

不安なこと、困っていることはありませんか？

例)「最近、ゴミ出しや買い物がしんどくて・・・」



生活支援コーディネーターへのご相談、情報提供はこちらへ！

お問い合わせ

社会福祉法人 五條市社会福祉協議会（地域福祉係）

〒637-0043 五條市新町3丁目3番2号 五條市立福祉センター内

合わせ

☎0747-24-4152

FAX0747-24-4153

✉gojo-shakyo@arion.ocn.ne.jp





令和6年度 地域活動の紹介



阪合部地区 第1回ふれあいサロン開催



令和6年11月17日(日)阪合部公民館にて阪合部地区社会福祉協議会と阪合部地区民生児童委員協議会の主催で第1回阪合部地区ふれあいサロンが開催されました。誰でも無料で参加できるサロンで、子どもから高齢者まで楽しめる内容が盛りだくさん。帰りには、阪合部の名産品のお土産つきで、参加者はなんと！145名。会場に入りきれない程の大盛況でした。主催者の犬飼さんは『大勢の方が参加してくれて良かった。久しぶりの再会もあった。阪合部の名産の紹介もできて良かった。今回来れなかった方がいるので、また開催したい。』と次回の開催に意欲的です。

世代間交流サロン



大塔町惣谷地区の助け合い活動

惣谷地区は住民同士の助け合いが素晴らしい地区と情報を得、令和6年9月12日(木)お彼岸の寺掃除後、おしゃべりを楽しんでおられるところを訪問しました。山深い惣谷地区では、昔から人々が助け合って生活してこられました。『若い時に年長者に助けてもらったので、恩返ししようと思って生活してきた。』と青山さん。人口は減っていますが、思いやりのある地域作りが出来ている惣谷地区では、住民が誇りを持ち、幸福に満ちた表情が印象的でした。高齢になってから始める「助け合い」ではなく、全世代で「助け合い・思いやり」を育む必要性を痛感しました。

惣谷地区 ええところ やで~



田園地区での取り組み

令和6年7月10日(水)
葛城市社協へ




昨年度に引き続き田園地区では、月に1回地域の困りごとについて話し合ってきました。今年度は、住民の移動問題(「自宅からバス停まで遠い」「公民館までの移動手段が無い」など)がテーマに挙げられました。そこで、住民主体の移動サービスに取り組む葛城市社協に勉強に

令和7年1月30日(木)
公民館での話し合いの様子



行ったり、移動サービス提供事業者(公共交通事業者、介護事業者)に公民館に来ていただき、それぞれの違いを整理し、サービスの狭間になっていることや移動サービス提供事業者では補えない課題を把握しました。田園地区では、令和7年度移動サービスの立ち上げに向けて取り組んでいけます。

「We Love  じょう」は、五條市内を進めている「支えあい・助けあい活動」を市民の皆さまにお知らせするための情報誌です。

【編集発行・問い合わせ先】

五條市社会福祉協議会(地域福祉係)
〒637-0043 五條市新町3丁目3番2号
☎0747-24-4152

